

授業科目名 <英訳>	文化人類学特別演習 2 (博士科目) Advanced Seminar in Cultural Anthropology 2	担当者所属・ 職名・氏名	人間・環境学研究科 文化人類学分野 教員								
配当 学年	博士3回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 後期	曜時限		授業 形態	特別演習	使用 言語	日本語
分野名	文化人類学										
【授業の概要・目的】											
フィールド研究を基軸に据えた、地域環境と結びついた生業生態と、エスニシティ、民族科学、コミュニケーション、宗教、ジェンダー、アイデンティティなどの種々の文化的装置との動的な関係を解析するための研究に関する博士論文の作成指導を行う。博士論文についての討論・予備的審査を通じて、論文作成の指導を行う。											
【到達目標】											
生業、エスニシティ、コミュニケーション、宗教、ジェンダー等、履修者の研究主題に関連する文献を読解し、自ら収集してきた資料の分析結果を踏まえて、質の高い民族誌的論文を作成する。											
【授業計画と内容】											
指導教員による研究論文作成指導・予備審査											
主として第3年次の学生を対象にして、特別研究I及びIIで提出した課題研究レポートI及びIIを基にして作成された学位論文の予備審査を行い、論文内容を充実させるための指針を与えると共に、完成にむけての具体的な助言を行う。											
【履修要件】											
共生文明学専攻博士後期課程3年次必修。特別研究 及び を修得していること。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
フィールドで得た一次資料の分析、読解した文献に関わる理論の理解、および実際の論文への援用等、高度な論文作成が達成できているかどうかを基軸として判断する。											
【教科書】											
必要に応じて指示、紹介する。											
【参考書等】											
(参考書)											
【授業外学習(予習・復習)等】											
事前に関連文献を読解して、自分の研究に活かすべく考察し、文章化しておく。授業後、コメントを受けて、論文の質向上をめざして自ら思考し、修正する。											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											